



いちょうっ子

～夢いっぱい 笑顔いっぱい 共に生きるいちょうっ子～

＜学校教育目標＞ 児童数401名

〔強く〕 自信をもち、心身ともに鍛える子

〔正しく〕 深く考え、進んで学ぶ子

〔美しく〕 明るく、思いやりのある子

「新時代」となっても変わらない

校長 藤村 郁夫



新年明けましておめでとうございます。

昨年は、新型コロナ禍が続く中、本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございました。今年も教職員一同、子どもたちのために精一杯努力いたします。どうぞよろしくお願いいたします。

2023年の正月は、皆様にとってどうでしたでしょうか。私は昨年に引き続き、新しい息吹を感じる広い田んぼの中を早朝ウォーキングしながら、初日の出を拝しました。空には雲一つ無く雪化粧をした真っ白な富士山をはっきりと見ることができました。そんな清々しい空気の中、私は近未来の夢に思いを馳せたり、自分の今年の願いを立てたりしました。そして、初日の出の陽光から新しいエネルギーをいただきながら、一日も早い新型コロナ禍の終息と北小の子どもたちの健やかな成長を祈りました。

さて、新しい年の初めに、みなさんはどんな目標を立てたでしょうか。だれでも、年が改まると新鮮な気持ちになりませんか。そうした節目に目標を立てることは、生活を充実させたり、自分自身を向上させたり、さらには心を強く豊かにするためにもとても大切です。

本日、子どもたちの活気が校舎にもどり、3学期が清々しくスタートしました。3学期は学年の総まとめを行い、来年度に向けての準備をする大切な学期です。自分の成長を振り返り、自分を見守り支えてくれている周囲への感謝の気持ちを感じ、今後の抱負・夢を想像力と表現力を発揮して形にしていきたいと思います。そうすることが更なる成長への土台となり、次への勇気や元気につながります。3学期は大変短い期間ですが、子どもたちには着実に力を身につけ、夢をもって前に進んでほしいと思います。

子どもたちを育成していく上で重要なことは、やはり基礎基本の徹底だと考えます。以前、恩師の先生から「守破離」という言葉を教えていただきました。茶道、武道、芸事などの修業において、まずは師匠から教わった型を徹底的に「守る」ことから始まり、師匠の教えに従ってその型を身につけた者は他流派や自分とを照らし合わせ、自分に合ったより良いと思われる型を試すことで基本の型を「破る」ことができる。さらに鍛錬して師匠から教わった型と自分自身で編み出した型の双方に精通した者は、既存の型に囚われることなく、型から「離れ」て自在となり、新たな流派を生み出すことができるという意味とのことでした。また、「型があるから型破り、型が無ければ形無し」という言葉もお聞きしました。社会の移り変わりにより「新時代」の到来が流行歌に乗って叫ばれ、必要な基礎基本も微妙に変化していますが、根本的なものは変わらないと思います。今後も生活や学習の基本を大切にして、北小から「型破り」は出しても「形無し」は出さないように全力を尽くしてまいります。

子どもたち一人一人が夢をもって前に進んでいけるように、今年も「強く 正しく 美しく」夢いっぱい笑顔いっぱい共に生きるいちょうっ子の育成に、教職員一丸となって取り組んでまいります。今後とも保護者・地域の皆様のご支援・ご協力の程よろしくお願いいたします。